



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 M R Kホールディングス株式会社

コード番号 9980 U R L <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 副社長執行役員 経営管理本部長 (氏名) 中 研悟 T E L 06-7655-5000

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	15,499	4.5	194	—	517	—	785	—
2025年3月期第3四半期	14,827	7.5	△324	—	△180	—	△249	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 870百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 △277百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	7.97	—	—
2025年3月期第3四半期	△2.47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,351	15,109	78.1
2025年3月期	20,202	14,629	72.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,109百万円 2025年3月期 14,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	101,295,071株	2025年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,525,340株	2025年3月期	1,188,218株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	98,497,684株	2025年3月期3Q	101,294,533株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩な商品・サービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業による賃上げの広がりや雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、不安定な国際情勢に伴う原材料価格・エネルギーコストの高騰や円安基調の為替相場などの影響から、先行きは不透明な状況が続いております。また、小売業界におきましては、継続的な物価上昇などにより消費者の生活防衛意識が一層強まる中、業態を超えた厳しい競争環境が続いております。

そのような状況のもと、主力事業である婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の「Liberdigne（リベルディーニュ）」の新色「Liberdigne Bordeaux（リベルディーニュボルドー）」（数量限定）など、新商品の投入により、リピート購入が順調に推移し、増収を達成いたしました。また、広告宣伝費の最適化や店舗戦略の見直し等コスト構造の改善を図るなど、全社的な経費の最適化を推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高154億99百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益1億94百万円（前年同期は3億24百万円の営業損失）、経常利益5億17百万円（前年同期は1億80百万円の経常損失）、2025年10月1日を効力発生日として実施しました連結子会社であるMISEL株式会社の吸収合併に伴い、同社が保有していた税務上の繰越欠損金を引き継ぎ、これによる繰延税金資産を計上したことにより法人税等調整額を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益7億85百万円（前年同期は2億49百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間において、補整下着販売が引き続き堅調に推移いたしました。主力商品シリーズ「Decorte Lumiés Idelat（デコルテ リュミエス イデラ）」の新色「Idelat Indigo Navy（イデラインディゴネイビー）」（2025年8月発売、数量限定）、「Liberdigne（リベルディーニュ）」の新色「Liberdigne Bordeaux（リベルディーニュボルドー）」（2025年11月発売、数量限定）の販売が好調に推移したこと、さらに、期間限定で実施した分割手数料優遇施策が奏功したことで、リピート購入件数及び購入単価が増加し、売上高前年同期比5.3%増と、増収を達成いたしました。

店舗展開においては、『MARUKO名古屋栄店』（名古屋市、2025年10月）を新規出店したほか、1店舗の移転を行い、お客様にご満足いただける店舗づくりを推進いたしました。

一方、運営効率の向上と固定費の適正化を目的とし、近隣店舗との統合などお客様の利便性を損なうことなく店舗展開の見直し（18店舗統廃合）を実施いたしました。

人材育成強化を目的とした先行投資を継続して実施していることで人件費は増加したものの、広告宣伝費の最適化及びその他経費のコントロールが奏功し、収益改善につながりました。

以上の結果、売上高は135億21百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は2億59百万円（前年同期は1億52百万円のセグメント損失）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間においては、国内出生数が統計開始以来、過去最少の見込みとなる厳しい状況で推移する中、「助産院監修シリーズ」などターゲット顧客層に効果的にアプローチする商品展開の拡充などにより、マタニティインナーの販売が好調に推移いたしました。

在庫水準の適正化を目的として商品の仕入を一時的に抑制したことから、売上高は減収となりましたが、広告宣伝費の最適化及び各種コスト削減が進んだ結果、損益面では黒字転換いたしました。

以上の結果、売上高は7億94百万円（前年同期比15.4%減）、セグメント利益は6百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

[婚礼・宴会関連事業]

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの、飲食事業の運営が主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間においては、「GRAND FESTA HAKATA（グランフェスタ博多）」（福岡市）が認知度向上により着実に増収で推移するとともに、利益面においても運営体制の効率化により改善が進みました。

以上の結果、売上高は7億68百万円（前年同期比25.8%増）、セグメント損失は45百万円（前年同期は1億53百万円のセグメント損失）となりました。

[その他]

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第3四半期連結累計期間において、スタイリストの採用環境が厳しい中、採用遅れによる人員の減少に伴い、売上高は減収となりました。一方、中長期的な成長基盤の構築を目指し、スタイリストの育成及び集客力の強化に向けた先行投資を継続的に実施いたしました。

以上の結果、売上高4億46百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は29百万円（前年同期は20百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は131億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億85百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加、売掛金の減少、関係会社短期貸付金の減少、商品の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は61億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億34百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の増加の結果によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は36億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億86百万円減少いたしました。これは主に、未払金の増加及び1年内返済予定の長期借入金の減少、未払法人税等の減少、買掛金の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は5億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億44百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は151億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億80百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び自己株式の増加による減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当連結会計期間の業績は順調に推移しており、親会社株主に帰属する四半期純利益については、2025年10月1日を効力発生日として実施しました連結子会社であるMISEL株式会社の吸収合併に伴い、同社が保有していた税務上の繰越欠損金を引き継ぎ、これによる繰延税金資産を計上したことによる法人税等調整額（益）の計上により、計画を上回る推移となっております。

しかしながら、当社におきましては第4四半期の売上計画が特に高く、また発売を予定している新商品が業績に与える影響も慎重に見極める必要があるため、通期の連結業績予想は据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,122,088	2,334,933
売掛金	5,496,679	4,847,920
商品	1,602,749	1,288,146
原材料及び貯蔵品	345,938	271,944
関係会社短期貸付金	4,200,000	3,650,000
その他	778,476	953,568
貸倒引当金	△208,092	△194,271
流动資産合計	14,337,840	13,152,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,198,667	2,113,421
その他（純額）	1,685,453	1,608,788
有形固定資産合計	3,884,121	3,722,210
無形固定資産	198,853	182,567
投資その他の資産		
その他	1,863,648	2,378,914
貸倒引当金	△82,244	△84,499
投資その他の資産合計	1,781,403	2,294,414
固定資産合計	5,864,378	6,199,192
資産合計	20,202,218	19,351,435
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,299,088	1,072,805
短期借入金	50,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	1,074,725	437,210
未払法人税等	334,045	31,267
賞与引当金	123,886	62,499
ポイント引当金	98,000	96,000
株主優待引当金	64,509	20,955
資産除去債務	1,828	18,113
その他	1,631,860	1,827,413
流动負債合計	4,677,942	3,691,266
固定負債		
長期借入金	281,464	—
資産除去債務	504,573	467,377
その他	108,796	82,962
固定負債合計	894,833	550,340
負債合計	5,572,776	4,241,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,384,957	2,070,330
自己株式	△97,747	△387,752
株主資本合計	14,252,548	14,647,916
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	376,893	461,911
その他の包括利益累計額合計	376,893	461,911
純資産合計	14,629,441	15,109,828
負債純資産合計	20,202,218	19,351,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,827,905	15,499,571
売上原価	3,762,260	3,887,098
売上総利益	11,065,645	11,612,473
販売費及び一般管理費	11,390,011	11,417,924
営業利益又は営業損失 (△)	△324,365	194,548
営業外収益		
受取利息	273,932	317,503
助成金収入	—	73,786
その他	38,737	42,615
営業外収益合計	312,670	433,904
営業外費用		
支払利息	150,989	52,757
支払手数料	1,092	33,606
その他	17,159	24,978
営業外費用合計	169,242	111,343
経常利益又は経常損失 (△)	△180,937	517,110
特別利益		
固定資産売却益	—	7,273
その他	1,930	521
特別利益合計	1,930	7,794
特別損失		
固定資産売却損	8,522	—
減損損失	403	449
固定資産除却損	2,932	2,837
災害による損失	2,130	—
賃貸借契約解約損	363	1,817
特別損失合計	14,353	5,103
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△193,359	519,801
法人税、住民税及び事業税	172,206	119,260
法人税等調整額	△115,779	△384,938
法人税等合計	56,426	△265,678
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△249,786	785,480
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△249,786	785,480

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△249,786	785,480
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△27,871	85,017
その他の包括利益合計	△27,871	85,017
四半期包括利益	△277,657	870,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△277,657	870,497
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,842,199	934,159	583,321	14,359,680	468,224	14,827,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,770	4,843	27,919	34,532	1,954	36,487
計	12,843,969	939,003	611,240	14,394,213	470,178	14,864,392
セグメント利益 又は損失 (△)	△152,562	△1,201	△153,049	△306,813	△20,600	△327,413

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	14,827,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△36,487	—
計	△36,487	14,827,905
セグメント利益 又は損失 (△)	3,048	△324,365

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額3,048千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,516,960	784,240	754,091	15,055,292	444,279	15,499,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,180	10,001	14,763	28,944	1,873	30,818
計	13,521,140	794,241	768,855	15,084,237	446,152	15,530,389
セグメント利益 又は損失 (△)	259,920	6,600	△45,467	221,052	△29,291	191,761

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	15,499,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△30,818	—
計	△30,818	15,499,571
セグメント利益 又は損失 (△)	2,787	194,548

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額2,787千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,337,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が290,004千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が387,752千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

318,201千円

270,170千円